

私がいままでできることは、
子どもたちに嘘をつかないこと。

こしとひろあき

小出裕章さん

講演会

原発と憲法

原子力発電に反対して44年。元京都大学原子炉実験所
助教が語る、原発が許されない理由とは。

「原子力は安全だ」「地球にやさしい」などというのは
すべて嘘だった。原子力発電の本当のことを伝えたい。



2015年 9月13日 (日)

時間：18:30～21:00 (開場18:00)

会場：小林市文化会館 (宮崎県小林市駅南232)

託児あり(要予約)

参加チケット(資料代)：700円(当日800円) ※学生無料

チケット取扱い

《小林》コープみやざき小林店・イーヴィレッジ・たまきの・泉の鯉

《都城》コープみやざき都北店・花繰店

《宮崎》コープみやざき柳丸店・花ヶ島店・天空カフェジール

《他地域》出口保育園(高原)・That's Bock Ring(綾)・なのはな村(三股)

主催 さよなら原発小林連絡会

後援 小林の環境を守る会

北きりしま移住支援センター【みき*ハウス】

連絡・お問合わせ先 080-4313-4433 (菊池)

SHRINES OF REMEMBRANCE





被ばくはとてつもなく恐ろしいもの。被ばくをすれば健康の被害を受けます。だから避難するしかありません。でも避難をすれば生活ができなくなってしまう。

「被ばくするか、家族がバラバラになるか、そんな選択を迫られるのはごめんだ。事故が起きる前に、なんとしても原発をなくさなくては。」

でも、なくすことはできませんでした。

避難生活か被ばくか、どちらかしか選べない

原発でできた死の灰は、すでに広島原爆の110万発分!

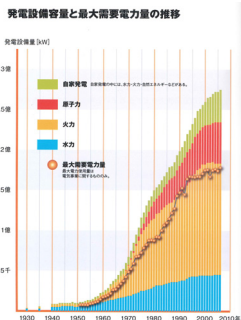
日本の人口が1億2000万人なので、150人(赤ちゃんからお年寄りまで)で広島原爆1発を持っているのと同じことになります。



原爆1発 / 150人

電力量

電力量は今ある水力・火力発電所だけで足りません。



なおかつ火力発電所の30%は止めておいても大丈夫。

【講師紹介】小出裕章さん こいでひろあき

1949年、東京生まれ。元京都大学原子炉実験所助教。68年、原子力の平和利用を夢見て、東北大学工学部原子工学科に入学しますが、70年、女川原発建設計画への反対集会に参加して以来、一貫して反原発の立場から研究と発言を行なっています。

74年、東北大学大学院工学研究科修士課程修了後、京都大学原子炉実験所助手。専門は、放射線計測、原子力安全。2015年4月、京都大学原子炉実験所を定年退職。



著書に『放射能汚染の現実を超えて』(1992)、『隠される原子力・核の真実 原子力の専門家が原発に反対するわけ』(2010)、『原発のウソ』(2011)、『子どもたちに伝えたい 原発が許されない理由』(2011)、『原発と憲法9条』(2012)『「100年後の人々へ」』(2014)など多数。

小出裕章さん講演会 「原発と憲法」
9月13日(日) 18:30 小林市文化会館

さよなら原発小林連絡会

毎月第3金曜日18時に小林駅前ピースウォークをしています

日本はもんじゅにつき込んだだけでもすでに一兆円のお金を捨ててきました。何年前かに、ある音楽プロデューサーが五億円の詐欺をしたという事件がありました。現在の裁判では一億円の詐欺をする

と一年の実刑を喰らうというのが相場なのだそうです。では、一兆円の詐欺をしたら、何年の実刑になるでしょうか? 一万年です。原子力を進めてきた人たち——原子力委員会の歴代の委員、あるいは国の官僚、そういう人たちに責任を取らせたい。例えば一〇〇人いたとすれば、一人一〇〇年の実刑が科される計算になります。…もうどうしようもないほどの犯罪を彼らは犯してきた。でも誰も責任を取らないまま、ここまで来てしまった。「原発と憲法9条」より